

分野ごとの役割分担シート（A グループ）

実現に必要な取り組み	健康		
	人	地域	まち（市）
	<div>規則正しい生活</div> <div>・早寝早起き朝ごはん（朝食をしっかり摂る、睡眠時間の確保）</div> <div>・食育（大人への教育、家庭での習慣付け、口腔衛生、咀嚼・食事の取り方を教える）</div> <div>フレイル予防</div> <div>・本人が気付けるきっかけや情報を与える（セルフチェックが気軽に行えるようにする、家庭でできる運動を教える）</div> <div>・健康づくりを促す工夫（体操にポイント付与など）</div> <div>生活習慣病予防</div> <div>・世代別年代別の健康課題に対応（ライフステージ別の対策、若い頃からの生活習慣病対策）</div> <div>心の健康</div> <div>・引きこもり対策（生きがいを与える）</div> <div>・ストレス予防を教える場所がある</div> <div>スマートフォンのやりすぎ注意</div> <div>・長時間のスマホ防止のチェックリスト作成</div>	<div>社会参加を促す</div> <div>・サークル活動やボランティア活動など、生きがいを見つけ、参加する</div> <div>・引きこもらせない</div> <div>・人が外に出ていきたくなる機会をつくる（イベント、無料の○○など魅力的なプランを企画、炊き出し・試食会、子どもと一緒にイベント、子どもをキーにして大人・高齢者同士をつなげる、ソフトボール、ゲートボール、情報）</div> <div>・ぶらぶら歩きができる場所をつくる（車が入ってこられない歩行者専用のエリア、興味を持って入ってみたいくなる施設）</div> <div>・男女共同参画（男性の家事参加、男女とも生涯現役）</div> <div>健康経営を推進</div> <div>・自治体、商工会（企業）が健康保険等を通じて連携</div>	<div>情報提供・啓発</div> <div>・知識を提供する体制づくり（意識を変え、実行に移す啓蒙活動、セミナーのネット配信、情報を広める工夫、学習漫画）</div> <div>健（検）診受診率向上のための取組</div> <div>・受診率アップのための広報（自分の健康に危機感を持ってもらう）</div> <div>健康づくりの担い手を育成</div> <div>・サポーターを育成（サポーターが活動する場所をつくる、相談・対話）</div> <div>安心して医療を受けられる体制整備</div> <div>・病院マップ</div> <div>ストレス解消を図る</div> <div>・相談窓口の充実（SNS の活用、学校での相談）</div>



	健康		
	人	地域	まち（市）
市民にできること			
行政にできること			

分野ごとの役割分担シート（B グループ）

	協働・コミュニティ			
	市民活動・コミュニティ支援	交流	情報共有	人権・男女共同参画・平和
実現に必要な取り組み	市民が気軽に集まれる場を設け、お互いを知り合うことを促す ・各地区に憩いの場を設け、誰でも集えるようにする （歩いて行ける場所、多目的に使える場、駅の近くに自由に使える場を設ける、巨大な施設でなくて ok、大きな総合施設ではなく、身近で使いやすい場を設けることで、コミュニティの維持につなげる、無料または安く手軽に借りることのできる施設の運営、各地域に集いの場を設ける、東西南北各地に交流センターを設ける、緩い集まり・サロンの場への支援、空き家の活用、市の財政支援） ・行政が団体同士のつなぎ役を担う	・引きこもりの人たちに就労場所を確保する ・地域で学校でお互いを知る（伝統文化継承事業、異文化の受け入れ） ・リーダーの育成 ・学校を中心とした地域の人との世代間交流事業（保育施設と高齢者施設の交流、継続的に続く、一過性でない交流事業）	全体 ・情報の信頼性の向上 ・共通言語を優しい日本語にする ・行政サービスを外国人にも行き渡らせる（文書を分かりやすく、相談場所の明示） ・新たな情報手段に関心を持つ ・伝承文化センターの設立 災害 ・単身世帯の集約化（特別な団地を造る） ・各家庭に無線ラジオを設置し、防災や公共に関わる情報を流す ・情報センターを設置 ・駅や大型スーパーに情報発信のディスプレイを設置する ・各戸に情報発信のディスプレイを設置する（単身世帯） ・広報以外の媒体による情報発信の強化 ・テレビ埼玉で上尾の番組を放映 ・防災無線の改善（多言語化による情報共有） ・防災マップの精度向上	人権・平和 ・啓発機会やツールの充実（市民に対する啓発の充実、講演・講座等の定例会の実施、悩んでいる人の電話相談） ・（国・人への）思い込みを捨てる（偏見に気付くこと、あいまいな言葉について考える、相手のことを知る、転入外国人の子どもの学校へのスピーディーな受け入れ） ・人権や平和について教育に組み込む ・性的少数者への正しい理解（学校教育の充実、同性パートナーシップ） ・インターネットの便利さと怖さを知る（学校でスマホ教室を充実、学校で SNS の使い方を教える） 男女共同参画 ・学校教育により性差別の根絶を含め、人権を守ることの重要性を教える（性差別の問題を教育に組み込む） ・役所の課長ポスト以上に女性を増やす



	協働・コミュニティ			
	市民活動・コミュニティ支援	交流	情報共有	人権・男女共同参画・平和
市民にできること				
行政にできること				

分野ごとの役割分担シート（C グループ）

実現に必要な取り組み	行財政運営		
	行政運営	財政運営	公共施設
	<div>スリム化</div> <ul style="list-style-type: none">外部の民間人材の活用ICT を活用して行政運営を分析予防医療（がん検診等）を将来的な扶助費の負担減につなげるワンストップ化民間活用（公民連携、NPO の活用）事務事業の見直し（業務の効率化）人員削減とは限らない <div>協働</div> <ul style="list-style-type: none">地域でできるものは、地域で取り組む公助、共助を実行できる体制づくり質の高いボランティア（サービス提供者となるボランティアの育成重要、ボランティアの意識啓発）司令塔を置き、官民連携を進める <div>透明化</div> <ul style="list-style-type: none">市民への説明を徹底（タウンミーティングの積極的な実施、業務過程の見える化） <div>多様なニーズへの対応</div> <ul style="list-style-type: none">これまで取り組まれなかったような施策の検討 <div>市の足腰強化</div> <ul style="list-style-type: none">若い世代が子育てしやすい施設を造る	<div>スリム化</div> <ul style="list-style-type: none">PFI 等民間の財力も活用した施策ボランティア団体の活用で出費を抑える必要な場に配分し、必要に応じて見直せるルール作りを行う事務事業評価（手法の検討、外部組織による評価、客観的な評価、既得権益の撤廃、費用対効果の見極め、スクラップ＆ビルド）補助金の見直し（使う側の意識も大切） <div>市の足腰強化</div> <ul style="list-style-type: none">活力ある企業を誘致し、法人市民税を増加させる（会社立地条件を改善し、企業を誘致する、工業特区をつくり、企業を集積する）地域産業への行政からの後押し人口減を抑制する施策を通じて、市民税収を安定させる使用料などを見直し、収入率を上げる	<div>効率的な施設整備</div> <ul style="list-style-type: none">市民サービスの低下を招かないような効率的な施設の設置土地を有効活用し、公園を多く整備する統廃合を進める複合化、多機能化を進める小学校を別の用途で使用するなど、既存施設の転用（施設の再利用） <div>戦略的な施設整備</div> <ul style="list-style-type: none">子育て世代の移住定住を促進するための保育所などの優先的整備



	行財政運営		
	行政運営	財政運営	公共施設
市民にできること			
行政にできること			

分野ごとの役割分担シート（Dグループ）

実現に必要な取り組み	防災・防犯・交通安全				
	交通安全	防災・危機管理	消防	防犯	消費生活
	<div>ソフト対策</div> <ul style="list-style-type: none">・市からの補助金で自転車用のヘルメット強化（児童用）・自転車の乗り方改善（免許制、子ども・高齢者に対する交通安全教室）・免許返納者に対する市内循環バスの無料化・青パトのスリム化、効率化・見守り隊の組織化（市全体、補助金を検討）・教員との連携により事故を抑止する・自治会、学校などと連携した地域の危険箇所の定期的な把握 <div>ハード対策</div> <ul style="list-style-type: none">・スクランブル交差点の増加（歩車分離整備工事）・街灯の増加、維持管理	<div>ソフト対策</div> <ul style="list-style-type: none">・ハザードマップの周知・地区防災計画の策定（学校と地域が連携して防災計画を立てる）・事前復興計画の策定・防災教育（体験学習、自治会や学校と連携）・情報共有（防災情報の共有、SNS等活用によりリアルタイムで情報発信する職員を配置）・有事の際の民間との協力（ショッピングモールなどと協定を結び避難所として活用）・防災訓練（消火など母子対象の訓練、避難所までのまち歩き、避難所設営訓練）・備蓄倉庫数の公開・市と市民の連携（避難所開設時をにらんだ市職員と自主防災組織の連携明確化、市と防災士の連絡再確認） <div>ハード対策</div> <ul style="list-style-type: none">・防災用スピーカーの強化・防犯カメラの設置・避難道路の整備	<ul style="list-style-type: none">・消防団との連携・AED講習の実施・地域交流の推進	<div>ソフト対策</div> <ul style="list-style-type: none">・防犯パトロールの充実・防犯メールの認知度を上げる <div>ハード対策</div> <ul style="list-style-type: none">・街路灯の設置・空き家を利用する	<ul style="list-style-type: none">・リサイクルシステムの工夫（子どもの服などのリサイクル、制服・バッグ・ジャージ等のリサイクル、リサイクル資材の商品化）・食品ロスの削減（食品ロスのシンクタンク、消費者団体と協働するお届けミニ講座）・SDGsへの取組（プラスチックごみの削減、ごみの減量）・地産地消の推進（野菜などの直売所設置）・子ども食堂への支援・困った時の窓口明確化（高齢者の買い物サポート、処分事業者の紹介）・あげバルの広報活動



	防災・防犯・交通安全				
	交通安全	防災・危機管理	消防	防犯	消費生活
市民にできること					
行政にできること					

分野ごとの役割分担シート（E グループ）

実現に必要な取り組み	福祉			
	全体	生活福祉	高齢者福祉	障害者福祉
	<ul style="list-style-type: none">・ハンデのある人が普通に生活できるようにする（表に出てこない、福祉を必要としている人の支援、ひとり親や障害者の支援、誰でもアクセスできて人との関わりが持てる場をつくる）・体験を伴う福祉の講座・福祉をうまく利用してもらう（今あるサービスの認知度向上、「介護サービスを受けるのが恥ずかしい」といったイメージの解消）・相談支援体制の確立（必要な支援機関につなぐコンシェルジュを設置、「相談する力」の向上促進）・ボランティアの充実（サービスを必要としている人と提供する人をつなぐ、地域の中でお助けボランティアをつくり、枝切り・草むしり・子守等を有償または無償で行う）・引きこもりの人の支援（年齢制限をなくす、金銭的な援助を）・1歩外に出たくなるような支援を（市内循環バスの本数増加）・働き方の改革（個々人に応じた多様な働き方、就労支援、再雇用支援、一つの仕事を複数人が担う多能工の導入、企業に対する福祉・介護・子育て講座開催、賃金格差の是正、子どもが病気の際に休める制度、育児休暇の取得促進）・スポーツ少年団など社会教育団体の充実・地域で高齢者が気軽に参加できる場を設ける（地域の安否確認システムの充実）・インフラ整備（バリアフリー、車椅子、障害者用のトイレなど）	<ul style="list-style-type: none">・保育バージョンの充実・ひとり親のシェアハウス・引きこもり支援相談センター等、行政の連携・チームづくり・生活保護を受けている人の生活実態調査	<ul style="list-style-type: none">・健康寿命の延伸を図る（ラジオ体操・ウォーキングなどスポーツしやすい環境整備）・自立支援（高齢者の自立を支えるサークルの充実、講座の設置、高齢者がオレンジカフェなどの運営者として関われる支援）・西口にも東口の「ことぶき荘」のような施設を設ける	<ul style="list-style-type: none">・様々な障害に対して市民の方の理解を深める・パラスポーツの普及・サービスを利用する当事者の話を聞く・空き家の活用（住まいの保障）・子どもたちへの啓発



	福祉			
	全体	生活福祉	高齢者福祉	障害者福祉
市民にできること				
行政にできること				